

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年 2月 28 日

事業所名:発達支援フォローアップ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広さは国で決められた基準を十分に満たしており利用人数や活動に応じて机や椅子の場所を変えるなど工夫しています。又個室もあり個別療育を	はい:16人 ・広い室内で子どもがのびのびと活動していると思います。 ・広いスペースで遊ばせてもらい子どももうれしそうです。	見学时や面談時・来所時などに室内を見学してもらい広さが十分であることをお伝えする事にしていきます。今後も利用者の状態や活動内容に合わせて工夫し快適で安全な環境作りに努めて参ります。
	2 職員の適切な配置	利用人数を踏まえて保育士・児童指導員等適切な人員配置しています。	はい:12人 わからない:4名 ・何人いらっしゃるかはあまり把握できていません。 ・通い始めたばかりで分かりませんでした。	職員の異動などで説明ができていない時期があったため、今後必要に応じて保護者に配置数について説明をしていきます。専門性についてはより一層努力して参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	指導訓練室は段差なく今年度より転倒防止・防音のフロアマットを敷いています。玄関の段差は支援員が適宜に補助・見守りを行い勝手口の段差は普段使うことなくゲージにて安全を確保しています。	はい:14名 わからない:2名	施設の前が道路の為玄関口は安全のため二重鍵をしております。転倒時の衝撃を和らげるため今年度よりフロアマットを敷いています。今後も安全性に配慮し快適に過ごせるように努め、面談時など部屋を見てもらいお伝えしていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃と消毒を行い感染症対策の為清潔を心掛けております。温度計・湿度計もよくみえる所に設置し常時把握し、管理しております。利用者の手洗い・手指消毒する等の支援を行っています。	はい:14名 わからない:2名 ・週末に機嫌が悪くても月・火と児童発達支援に行く本人もニコニコと帰って来ています。 ・玄関先なので中まではあまり分かりません。	明るい玄関には季節ごとに子ども達の作品を展示し喜ばれています。今後も清潔、整理整頓を心掛け、快適に過ごせるように努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングで話し合い必要に応じて業務改善や支援の振り返り、共有できるよう努めています。	/	今後も職員同士の積極的な話し合いを継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていません。	/	要望があれば今後外部の評価の活用を検討したいと思います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内での研修や外部講師による研修や動画等の研修に参加するなど、全ての職員と共有することで資質向上に努めていきます。	/	今後も社内研修や外部研修に参加し知識・技術の習得に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援期間内ごとに面談を行い保護者と支援内容の確認を行いおさまりの日々の様子を確認した上で保護者と課題を共有し、計画書を作成しています。	はい:16人	今後も丁寧にアセスメントを行いニーズに合わせたよりよい支援計画の作成に力を注ぎ職員間で情報交換を行いよりよい支援計画を作成します。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団療育・個別療育での様子をもとに個々の特性・課題に応じた計画書を作成しています。	/	今後も一人一人の現状に合わせて支援を行えるよう計画書を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者と課題について話し合い共有したことをもとに項目設定を行い、項目ごとに具体的な目標と支援内容をわかりやすく記載するように努めています。	はい:16人	今後も項目ごとに具体的にわかりやすく記載するように努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々のミーティングで職員全体の情報共有を行い、支援計画をもとに、統一した支援を行っています。	はい:16人わからない:1人 ・毎回迎えに行ったときに様子を伝えて頂いているので安心しています。	今後も支援計画に基づいた支援を職員で全体で継続して行っています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で日々の活動を振り返り利用者一人一人の特性や状況に合わせて毎日の活動やプログラムを考えて立案・修正をしています。		今後もチーム全体で活動を発案・実行していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	今年度は就学前のお子さまのみのご利用となっており平日・休日・長期休暇の区別なく通われている。月ごとの行事を入れたり季節に合わせて活動内容に変化があるように工夫しております。		今後、又就学後のお子さまがご利用される際は平日、休日長期休暇と考えていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事や制作・調理実習・サーキット・感覚遊び・外遊び等を用意し、色々な体験ができるように工夫しています。お子様一人一人が、積極的に参加できるよう職員全体で支援し実施しています。	はい:16人 ・毎回の様子を書いてくださっていて確認できています。	今後もお子さまの興味関心に答えられるよう意欲的に取り組んで参ります。保護者の方にも活動内容等積極的に伝えられるように工夫していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、ミーティングを行い、お子様の直近利用時の様子や伝達事項・役割分担の確認を行っています。変更の際も、職員全体に都度伝達し、情報共有しています。		今後も現状を継続し努力していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日のお子様の様子や特記事項、保護者からの伝達事項は記録し、翌日のミーティングにて情報共有しています。		今後も現状を継続し努力していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	お子様の様子や支援内容については、記録し、ミーティングをする事で統一した支援を行い、必要に応じて支援の改善を行っています。		今後も現状を継続し努力していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行っています。保護者の方と現状を共有し、見直しを行っています。		今後も現状を継続し努力していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参加し、支援内容の方向性や情報共有を伝達できるよう努めています。	今後も現状を継続し努力していきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当の利用者はいません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当の利用者はいません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所や幼稚園・小学校と必要に応じて話し合い情報交換を行っています。	今後も連携機関と情報交換を行い、連携を図っていきます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じ関係機関と情報共有が図れるように対応いたします。	保護者からの要望があれば今後も検討していきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携は行っていますが、研修の受講は現在できておりません。	今後必要に応じて研修の受講を検討していきます。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は新型コロナウイルスが5類になったとはいえ季節を問わずインフルエンザとコロナが同時流行している為、様子を見ながら検討していきます。	はい9人、どちらでもない1人、いいえ1人、わからない2人 保育所への送迎の際に排便や着替えのことなど伝えてくれます。「トイレノート」で保育園と児童発達支援が連絡されると感じています。	今後必要に応じて検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は新型コロナウイルスが5類になったとはいえ季節を問わずインフルエンザとコロナが同時流行している為、様子を見ながら検討していきます。		今後必要に応じて検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約や面談時に保護者への説明を行っています。	はい:16人 ・「トイレノート」を通じて保育園と児童発達支援が連絡されていると感じています。	今後も契約時・面談時など継続して丁寧に説明を行います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながら普段のご様子などお話しして説明を行っています。	はい:15人 わからない:1人	今後も丁寧に説明を行います。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方から相談があれば、助言させていただきます。	はい:7人 どちらともいえない:3人 いいえ:2人 わからない:3人	今後も保護者に対して相談に乗り必要に応じて対応できるように努めていきます。個々に相談に乗るだけでなく、誰にでも当てはまるようなペアレントトレーニングの研修についても検討する。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との連絡ノートの活用と、お子様のお引き渡しの際の伝達や、必要時は電話を行い、日頃から情報共有できるように努めています。	はい:16人 ・その日に実施された作業療法の様子を具体的に手作りおもちゃを見せてもらったり「ドリル」などお持ち帰りするのでわかりやすいです。	今後も保護者の方へわかりやすくお伝えして共通理解に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	お子様のお引き渡しの際や連絡ノートでのやり取りや、メール等、お休みの際のご様子をお聞きする電話、面談等でお話をお悩みを伺い対応しています。	はい:13人 いいえ1人 わからない:2人 ・困っていることが相談でき、いろいろな方法をアドバイス頂くので本人がハマるやり方を見つけて下さっているのが嬉しいです。	今後も、保護者の方が相談しやすい環境を提供していけるよう努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナウィルスも5類になったこともあり検討していますがインフルエンザなどの流行もあり現在は行えていません。	はい1人、いいえ5人、わからない10人 ・保護者同士の連携が支援されているのかわかりません。	保護者の方の必要性を勘案しながら検討いたします。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情対応及び対応内容の説明をさせていただきます。苦情があった際には、改善策を話し合い保護者の方へもお伝えさせていただきます。	はい:12人 どちらともいえない:1人 わからない:4人	契約時・面談時に説明し苦情やご指摘を頂いた際は迅速に対応させていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思疎通が難しいお子さまには傍につき目で見てわかる耳で聞いてわかるそのお子さまにあった支援方法で情報伝達を行います。	はい:16人	今後も必要に応じて文字・絵カード・文書・メールなどのツールを使用し対応していきたいと思います。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現在、定期的な通信は発信しておりません。必要に応じて、行事ごとのお知らせを配布しております。	はい7人、どちらでもない2人、いいえ1人、わからない6人 ・ハロウィンやクリスマス会、夏祭りなどチラシを入れて下さり楽しいイベントをしてくれています。 ・活動内容は毎日連絡帳や口頭で知っています。	定期的な通信・ホームページ等情報発信を今後も検討していきたいと思えます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報等の書類は鍵付き書庫保管しており、職員全員に取り扱いの重要性を周知しています。破棄する書類は、シュレッダーを使用しています。	はい:14人 わからない:2人	今後も現状を継続していくと共に契約時面談時等に個人情報の取り扱いについて保護者に丁寧に説明していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に緊急時の対応・避難先について等の説明をしています。各マニュアルを作成し、職員全員が周知しています。	はい:12人 どちらともいえない1人 わからない:3人	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル感染症対応マニュアルについて避難訓練等でお子さま・保護者にもわかりやすくお伝えしていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回、各災害・不審者等の発生を想定した避難訓練を行っています。	はい:13人 わからない:3人	連絡ノートにて避難訓練の当日のお子さまの様子などお伝えしております。今後も継続して保護者にも伝わるように工夫していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングや研修を行っております。		今後も現状を継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象児童はおりませんが、身体拘束を行う場合は、保護者と話し合い、同意をいただき支援計画に記載と記録を行います。		今後も現状を継続していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあるお子様に対しては、保護者の指示のもと、対応しています。また、レクリエーション等で対象食物を提供しない、食事の際の、テーブル・椅子の区別、食後の清掃・消毒を行っています。		今後も現状を継続し、保護者又は医師の指示書にもとづいて、適正に対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは都度作成しています。作成後は、日々のミーティングで報告を行い、職員全体で周知徹底、改善に努めています。		今後も現状を継続し、再発防止・事故防止に努めていきます。